

金武町議会報



# さん乙ん

第 **123** 号

発行：平成22年12月1日



▲「ラン」

主な内容

平成22年第6回（9月）定例会 .....	2～3 P
一般質問 .....	4～11 P
伊芸 孝／嘉数義光／大城一之／東 寛治／仲間昌信／ 崎浜秀幸／仲間政治／吉野民雄	
その他 .....	12 P

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp>

平成22年 第6回定例会

# 平成21年度 各会計決算を認定

## 定例会概要

平成22年第6回定例会を9月15日から10月1日までの日程で開催しました。  
 オスプレイの沖縄配備に反対する意見書と要請決議を提案し、全会一致で可決。  
 関係機関へ送付しました。

また、平成21年度各会計の決算の認定が執行部から提出され、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行った。審査の結果、各会計の決算を認定したが、4人の議員から提出された少数意見が留保された。

8人の議員がおこなった一般質問は、4ページから11ページをご覧ください。

## 平成21年度 各会計の決算状況

### 一般会計

歳入	138億872万5,315円
歳出	132億9,641万8,660円
差引額	5億1,230万6,655円

### 国民健康保険事業特別会計

歳入	19億8,136万1,282円
歳出	19億4,171万8,633円
差引額	3,964万2,649円

### 老人保健特別会計

歳入	2,752万5,678円
歳出	2,686万2,865円
差引額	66万2,813円

### 金武町水道事業会計

収益的収入	3億496万8,065円
収益的支出	2億7,932万1,633円
資本的収入	5,348万4,637円
資本的支出	5,637万3,537円

### 屋嘉地区簡易水道事業会計

収益的収入	3,060万6,721円
収益的支出	2,835万6,807円
資本的収入	341万6,921円
資本的支出	345万8,721円

### 有線放送電話事業特別会計

歳入	2,345万9,116円
歳出	2,074万3,805円
差引額	271万5,311円

### 後期高齢者医療特別会計

歳入	1億1,880万4,589円
歳出	1億1,755万2,469円
差引額	125万2,120円

### 水道事業会計・屋嘉地区簡易水道事業会計

左の収益的収入額から仮受消費税及び消費税還付金を差引いた税抜き収入決算額は2億9,724万7,654円となる。また、収益的支出額から仮払消費税を差引くと、2億7,180万7,651円となり、税抜収入額から税抜支出を差し引いた2,544万3円が21年度純利益となる。

資本的収入が資本的支出に不足する288万8,900円については、建設改良積立金、21年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てん。

屋嘉地区簡易水道事業会計も同様の計算方法で、21年度純利益は220万9,597円となり、収入に対する支出の不足額4万1,800円は過年度損益勘定留保資金で補てんした。

# 平成21年度一般会計決算に関する監査委員の指摘事項

## 町営住宅使用料について

町営住宅使用料の21年度滞納額は2,210万8,900円で、20年度と比較して10.22%増えている。失業や生活困窮など毎年同じことが滞納額の増加の理由として挙げられているが、これでは徴収率の向上が図られない。

入居者の実態調査や前年度の監査指摘事項などを検討し、住宅使用料を納めている入居者と不公平が生じないように、徴収に十分考慮していただきたい。

## 給食費・保育料・幼稚園保育料について

学校給食費の21年度滞納額は、2,391万7,045円で毎年増加傾向にあり、保護者に対し学校給食費の予算内容等についての説明会を設ける必要がある。現行の徴収1人体制には限界があり、徴収体制を確立し、滞納額の増加抑制に努めるべきである。

21年度保育料の徴収率は、99.90%で徴収努力がなされている。滞納額も20年度に比べ20.09%減となっており、今後も努力されたい。

幼稚園保育料については、平成6年度から21年度までに169万2,000円の滞納額がある。将来の保育所と幼稚園の一体化構想にまで滞納分も引き継ぐことがないように徴収の取組みに努力されたい。

## 補助団体について

補助金交付申請が遅く資金不足となり、個人からの借入金で運営している団体がある。好ましくない運営方法であるため、主管課は指導すべきである。

費用弁償を受け取っているにもかかわらず、総会終了後の懇親会費を団体予算で支出している。会費制での開催に改めるべきである。

毎月の摸合を兼ねて補助団体の勉強会を開催し、予算を支出している団体がある。予算を支出するのであれば、摸合と別けて開催すべきである。

## 予算の流用・充用について

旅費の増額流用は、町の財務規則で制限されているが流用がなされている。また、予備費から食糧費への充用は適当でないと思われるので、町財務規則での制限を検討されたい。

## ■ ■ ■ 留保された少数意見 ■ ■ ■

(提出者：仲間昌信・仲間政治・崎浜秀幸・東寛治)

- ・ふるさとづくり整備事業を計画しているギンバル訓練場の用地購入、野球場の用地購入については、不動産鑑定評価額を著しく無視し、町長の裁量権の範囲を逸脱した職権乱用行為で購入しており、認められない。
- ・旅費の増額流用は、金武町財務規則第24条第3項第1号に違反して支出されており、認められない。
- ・予備費からの食糧費への充当は適当でないので、認められない。
- ・補助団体への育成・指導は、徹底して行うべきである。



平成22年 第6回 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊芸 孝 議員

北部振興事業

本町の実績は

町長 町道111号線道路  
改築事業等を実施

伊芸議員 北部振興事業の

経緯と本町におけるこれま

での事業実績は。

儀武剛町長

北部振興事業  
については、普天間飛行場  
の移設に係る政府方針に基  
づき、平成12年度から事業

を実施している。

本町においては、町道1  
11号線道路改築事業、ぶ  
なしめじ施設整備事業、野  
球場施設整備事業、ほか5  
件で総額36億9537万3  
000円となっている。

伊芸議員

普天間問題や米  
軍再編交付金との関係は。

町長

平成12年度から概ね  
10年間の事業として進めら  
れてきた。

平成18年度において、当  
初の政府方針が廃止された  
が、地域振興事業について  
は21年度まで実施している。

平成22年度から23年度に  
ついては、新政権において  
産業の振興や定住条件の整  
備に資する地域事業を実施  
するため、沖縄北部地域活

性化特別振興事業が実施さ  
れており、その内容から米  
軍基地とはリンクしないと  
考える。

再編交付金についても、

北部振興事業との関係はな  
い。

伊芸議員

今後の継続の可  
能性は。

町長

北部12市町村連名に  
よって、事業の継続と予算  
の確保を内閣府特命担当大  
臣に要請している。

ダム建設に伴う要望事項

噴水の整備計画は

町長 噴水の位置や高さな  
どについて調整中  
ある

伊芸議員

億首ダム建設に  
伴い、地域からあがった要  
望事項の実現に向けた取組  
みの進捗状況は。

町長

すでに実施している  
項目が41件、今後実施する  
項目が57件、検討中の項目  
が26件となっており、検討  
中の項目については、今後  
6者協議会で調整を図る。

伊芸議員

噴水の整備計画  
は。

町長

実施に向け、北部ダ  
ム事務所と噴水の位置、高  
さ、維持管理等について調  
整中である。

住民生活

戸籍上生存している  
100歳以上の数は

町長 112人である

伊芸議員

戸籍上では生存  
するが、所在がわからない  
者はいるか。

町長

112人存在する。

伊芸議員

その原因は。  
平良幸夫住民生活課長 先  
の大戦によって戸籍が消失  
し、その後、戸籍の整備を  
行った際に、所在不明の方  
も生存しているだろうとい  
うことで申請をおこなった  
ものが現在まで残っている  
ことが原因と考えられる。

伊芸議員

今後の対策は。

住民生活課長

しっかりと  
手続きを行えば起こらない。  
戸籍の附表への記載につ  
いて、徹底するように指示  
する。



嘉数義光 議員

町民の声の取り扱い

町民の声は町長まで報告があがっているか

町長 内容によっては課長が副町長へ相談し、町長へ報告する

嘉数議員 役場の各課の窓口は町民の声が届いてると思うが、その声を書きとめる統一の様式等があるか。また、町長まで報告があがる仕組みか。

儀武副町長 町民の声については、役場、総合保健福祉センター、各区事務所へ御意見箱を設置し、統一した様式で御意見を記入できる仕組みとなっている。

また、各課窓口、電話相

談については、直接口頭で対応し、その場で解決できるものは解決している。

相談内容に重要な要件がある場合は、課長が副町長へ相談した後に町長へ報告している。

嘉数議員 「担当職員が休んでいるのでわかりません」という対応では、その方の声は消えてしまう。

並里区では、「金武町役場のような対応はしない」という職員マニュアルがあるが、町民の声に耳を傾けて、優しい行政を心掛ける考えは。

町長 並里区でそのようなことがあるという事は、大変ショックである。

職員の意識の高揚と注意喚起を行い、町民の方々の声を真摯に受け止め、対応したい。

農業問題

優良品種研究試験場をギンバル地域へ誘致する考えは

町長 現段階では考えていない

嘉数議員 本町にはバイオ技術を研究されている方がいるが、優良品種の研究試験場をギンバル地域に誘致し、技術向上を図る考えはないか。

町長 優良品種研究試験場の役割については、沖縄県農業研究センター名護支所が、田芋やパインなどの優良品種等を担っている。

ギンバル訓練場跡地への誘致については現段階で考えていないが、今後の情勢をみながら検討したい。

嘉数議員 町内農道において、農業機械を無免許で運転し検挙されたということがあるが、免許取得講習を

町内で開催することはできないか。

町長 農業用機械の運転免許については、学科及び実技試験に合格する必要があるが、学科については、普通自動車免許を有しているものは免除となる。

実技試験については、公安委員会が定められたコース設定のある場所で行われる必要があり、本町においては開催できる状況ではない。

民俗芸能祭

今後の開催は

教育長 今年度は屋嘉区での開催を予定している

嘉数議員 昨年の民俗芸能祭は、中川区において開催されたが、今後の開催地は、屋嘉区を予定しており、来年度以降の開催については、中央公民館での開催を含め、各区と調整したい。

嘉数議員 各区では伝統芸能・民俗芸能の保存会が組織されているが、連絡協議会を結成する考えはないか。

教育長 民俗芸能祭の開催前に、各区区長及び保存会会長と意見交換会を実施している。

今後はこのような場を活用し、検討したい。



大城一之 議員

事業の進捗状況

陸上競技場の全天候型整備事業の進捗状況は

町長 23年度工事着手を計画しており、調整を進めている

大城議員 陸上競技場全天候型整備事業及びギンバル訓練場跡地利用計画の進捗状況を伺う。

儀武剛町長 沖縄北部活性化特別振興事業で予定している陸上競技場の全天候型整備事業は、平成22年度に実施設計、23年度に事業着手を計画しており、事業採択へ向け調整している状況である。

ギンバル訓練場跡地利用

計画については、用地購入を概ね済ませ、22年度は幹線・補助幹線道路の詳細設計を行う。公設民営のホテル等については、誘致に向け、3社の企業と月1回程度の情報交換を実施している。

大城議員 ギンバルに隣接して野球場を整備したが、

陸上競技場も当該地域に設置することは考えられないか。

仲間一教育長 ギンバル訓練場跡地利用計画では、多目的グラウンドを整備する計画がある。

陸上競技場の整備について、

ギンバル訓練場内での整備は検討していない。

大城議員 ギンバル訓練場跡地利用で計画している医療関係の施設については、

専門的な方々や地域の医療関係者の意見も必要であると考ええる。

地域で医療に携わる人た

第4次総合計画

人口増に対するこれまでの評価は

町長 子育て支援等を実施したことが人口増加につながったと考える

大城議員 平成27年度の人口を1万2000人という目標を掲げているが、これまでの評価と今後の計画は

町長 総合計画における22年の目標人口は、1万1313人としており、22年8月における住民基本台帳人口は、1万1239人で目標値にほぼ近い。

これは、子育て支援施策

等推進したことにより、人口増につながったものと考え、今後も目標人口をめざし、各施策を講じる。

大城議員 人口の出入りが激しいと感じる。

中川小学校は複式学級移行の手前まで迫っていることから、中川地域に団地を建設することを提案したいが。

伊芸達博副町長 今後は町で町営住宅をつくるのではなく、個人に町有地を借用させて、一戸建てを建設させることも一つの手法と考える。

国道329号

電線地中化・歩道拡張は

町長 金武給油所から役場付近は、23年度から工事開始予定

大城議員 今後の国道329号電線地中化工事の予定と歩道拡張について伺う。

町長 浜田付近から金武給油所までの間は平成19年度までに工事を完了しており、

金武給油所から役場付近までの工事については、22年度に実施設計、23年度から工事予定となっている。

宮里安秀企画課長 金武給油所から役場付近の電線地中化工事に伴う歩道整備については、現在の路肩、歩道の幅で北部国道事務所と調整している。

調整している。





東 寛 治 議員

屋嘉地区共同作業施設運営合理化

指定管理者制度へ移行したことによる効果は

町 長 大きな変化はないが施設整備により一定の成果をあげている

東議員 屋嘉地区共同作業施設は、平成18年4月1日に屋嘉区が指定管理者となり管理運営を行っているが、制度導入によって、農業生産の拡大や農家所得の向上にどのような効果があったか。

儀武剛町長 本施設は平成11年度に町と屋嘉区で使用賃貸契約を締結し、18年度からは指定管理者制度へ移行した。

指定管理者制度へ移行したことに伴い、事業効果に大きな変化はないと考えるが、施設整備によって点在していた各農家の作業所の集積による流通上の合理化及び情報交換の円滑化、機械化による出荷作業等の効率化など、一定の成果が得られていると考える。の公平性の観点から各施設の運営状況を踏まえ検討する。

東議員 21年度の収支決算の状況から、健全運営がなされていると考えるか。

町長 本作業施設の使用料等の収入が約30万円程度、施設の維持・管理等に係る支出については約119万円程度となっている。

東議員 毎年多額の赤字が発生しており、屋嘉区の一一般財源から補てんされている。

赤字解消に向けた支援・指導等の対策を講じる考えはないか。

町長 施設整備当初の計画のとおり、屋嘉区からの運営補助金や農家の使用料等による収入で運営することを原則としている。

運営に関する指導等については、屋嘉区や関係団体と話し合いをおこないたい。

東議員 同じ指定管理者制度を導入しているネイチャーみらい館に対しては、運営補助金として委託料が支払われている。

屋嘉区の作業所に対しても同じように支払すべきと考えるが、「区の財政負担になるので、施設は町に返還します」となった場合、町はどのように対応する考えか。

池原均産業振興課長 屋嘉区からの設置要望に因應する形で施設を整備してきたが、今後、運営が厳しいとなった場合には、町としては、別の方向も検討しなければならぬと考える。



屋嘉地区共同作業施設

屋嘉地区集落内道路補修改善

町道屋嘉38号線の改修は

町 長 早急に対応する

東議員 屋嘉地区農業集落排水事業管路工事に伴って復元舗装された町道屋嘉38号線の一部の側溝が、路面より低いため、降雨時に雨水が滞留し、歩行に支障を来している。周辺住民から改善が要望されていると思うが、今後の対策は。

町長 現場を踏査した結果、改善を要する部分があったので、早急に対応する。



仲間昌信 議員

農業集落排水事業

宅内配管に係る費用の助成は

産振課長 自己負担が原則となってる

仲間議員 町内各地区の農業集落排水の供用開始の時期を伺う。

儀武剛町長 農業集落排水事業については、伊芸区では平成11年度から供用開始されている。

屋嘉地区は平成24年度、並里・金武地区は平成26年度の供用開始を予定している。

仲間議員 伊芸区では、宅内配管の工事費を区の財産

保全会が100%補助を実施している。

加入率を高めるために、屋嘉、並里・金武地区についても財産管理会などに補助を求める考えはないか。

池原均産業振興課長 農業集落排水事業の性質上、宅内配管については個人負担が原則であり、町から財産管理会等へ要請をすることはない。

仲間議員 うるま市での水道の処理費は、水道料の約50%で料金を設定している。

伊芸区においては、当初の1750円から22年度に1400円に料金見直しが行われたが、一人世帯でも何人世帯でも一律であり、不公平感があるのではないかと苦情もあるが、どのように指導を行っているか。

産業振興課長 基本的には水道メータがしっかりあ

て、1トンあたり幾らという計算ができるが、伊芸区の場合はメータが設置されていない。

当初は1750円徴収すれば、全体の維持管理は可能であるとのこと。料金が設定されていたと考えるが、近年、加入率も上がり、区と調整をおこない、料金の見直しとなった。



区民による海浜公園の清掃

伊芸区海浜公園の管理

電気・水道料金の負担は

町長 町が負担している

仲間議員 伊芸海浜公園が供用開始されたが、管理の方法は。

町長 平成22年4月1日から伊芸区が指定管理者となっている。

仲間議員 管理の範囲は。

町長 公園の占用許可業務やシャワー料金の收受、施設・設備等の維持管理に関する業務ということで協定を交わしている。

仲間議員 指定管理者が管理を行う上で、制約等はあるか。

町長 指定管理者が行う管理に関する業務については条例に定められており、特に制約はない。

利用者への禁止事項等については、条例、施行規則で定めている。

仲間議員 草刈りの回数と頻度、作業人数、費用等は。

小波津武則建設課長 年間を通して週1回の草刈りと夏場のシャワー施設、トイレ、便益施設の管理を管理の業務とし、費用については指定管理の年間委託料65万9000円の中に含まれている。

作業人数については、週1回1名を想定している。





崎浜 秀幸 議員

米軍基地から派生する  
事件・事故

新開地へ監視カメラを設置する考えは

町長 社交業組合なども含め話し合いたい

崎浜議員 基地から派生する事件・事故は、戦後、わかっているだけでも6000件を超えている。

これまで問題が起こるたびに関係機関で組織するワーキングチームにおいて協議を行ってきたが、このような対処のあり方でよいと考えるか。

儀武剛町長 新これまで幾度となく日米両政府に対して、米軍人の綱紀肅正の徹

底、再発防止、訓練のあり方等も含め協議を行ってきた。

事件・事故の防止策として、キャンプ・ハンセンに新たに赴任してきた兵隊に対し、注意喚起の講話を実施している。

崎浜議員 事件・事故等が起こった場合の補償などについては、町でどのような手続きを行って対応しているか。

宮里安秀企画課長 事件・事故発生時には、石川警察署及び沖繩防衛局から事実関係の確認を行い、町の顧問弁護士への相談等もしている。

崎浜議員 町では、事件・事故発生時の対処マニュアルを作成しているか。また、作成していない場合は、作成に向け取組むべきであると考えているか。

企画課長 現在、マニュアルは作成していない。今後

は、作成に向け取組む。

崎浜議員 今年の1月に青年とタクシー運転手が外国人に殴打された。8月にはパーラーのショーケースが壊される事件が起こったが、犯人が特定されず事件として立件ができない状況があった。

過去にも話があったが、新開地に監視カメラを設置すべきと考えるが。

町長 新開地整備事業の際、カメラ設置の予算も追加承認された。

しかし、地域からはプライバシーが守れない等の問題もあり、設置には至らず、やむなく断念した経緯がある。

事件・事故も実際に起こっており、地域にも変化があるかも知れないので、社交業組合等も含め話し合いを行いたい。

崎浜議員 事件を起こした米兵は、沖繩では裁かれる

ことはないが、本国で同じような事件を起こせば厳しい処罰を受ける。

これは、沖繩県民の人権が蹂躪され、このようなことが続くこと自体、間違っていると思うが、この現実をどのように受け止めるか。

町長 日米地位協定の不合理さを大変遺憾に感じ、抜本的改定に向けて粘り強く訴え続ける。

崎浜議員 事件・事故が起こらないためには、米兵の外出禁止まで踏み込むべきとの考えはあるか。

町長 基地ゲート前などで商売をされている方々がどのような反応をなされるかということも本町の悩みの一つである。

基地がなくなれば全て解決すると思うが、こういう現状の中でどう工夫を凝らし、どういう形で解決できるかということが知恵の出どころであると考えている。

外出禁止を要求することがベストの選択かどうかも含め、いろいろな角度から検証したい。

崎浜議員 基地に頼らない自立した金武町に向けて、町長の決意は。

町長 ギンバル訓練場の跡地利用を自立経済の一端とし、そこからブルー・ピッチやキャンプ・ハンセンの返還につなげたい。

自立に向け少しでも実力をつけて返還させていくような努力を今後も続けたい。



仲間政治 議員

都市型訓練施設の解体・撤去

レンジ4問題は解決済みという認識か

町長 解体撤去を強く訴え続ける

仲間議員 レンジ4に建設されていた都市型訓練施設の代替施設の工事が完了し、当該移設先において既に訓練が実施されている。

レンジ4の都市型訓練施設の解体撤去を求め、長きにわたり闘いを進めてきたが、既に問題は解決済みと認識されているか。

儀武剛町長 5月10日からレンジ4の代替施設として建設されたレンジ17におい

て訓練を実施するため、レンジ4における陸軍の訓練はおこなわないとの連絡を沖縄防衛局から受けた。

町としては、今後もレンジ4に建設された都市型訓練施設の解体・撤去を強く訴え続ける。

仲間議員 連絡手段は。書類は残っているか。

宮里安秀企画課長

沖縄防衛局から電話での連絡があった。文書での連絡はない。

仲間議員 非常に重要な案件であり、文書でやり取りすべきではないか。

沖縄防衛局から6月1日に発行されている広報紙はいさい127号には、「陸軍は使用しない」、「今後の取り扱いについては、海兵隊が検討する」と掲載されている。

新たにレンジ17へ施設を整備し、レンジ4の施設は残すことになると、我々の

反対運動を逆手にとって、基地機能強化が図られたこととなるが、どのような認識を持っているか。

町長 この件については、

議会・町当局も撤去を訴えてきた。担当課による情報収集や私が直接防衛局に問い合わせを行ったが、海兵隊と調整中であるという回答しか得られなかった。

今後撤去を求める行動を取っていく考えである。

仲間議員 議会も解体・撤去を求めた決議を行って

おり、町当局と手を取り合っ

て強力に働きかけるべきと考えるが。

町長 書面での対応も考えなければならぬ。

これまで我々がとってきた解体・撤去を求める行動を続けたい。

副町長2人制

2人制を継続する方針か

町長 今後判断したい

仲間議員 副町長が1人不在となり、1年余り経過している。後任を選任しないのであれば、条例を改正し、1人制にすべきと考えるが、

今後も2人制を継続する方針か。

町長 副町長2人制をとったときに、力を合わせて頑張ろうということで選任したが、町長選挙に立候補するのであれば、選任する時点で辞退して欲しかった。

現在は伊芸副町長に苦勞を掛けていますが、もう少し冷却期間をいただいで、その中で今後判断したい。

町民税の減税

減税は恒久的か

町長 検討中である

仲間議員 町民税10%減税に向けた進捗は。

町長 町長 現在、金武町税条例の改正に向けて取り組んでいる。

仲間議員 減税は恒久的か否か。

町長 現段階においては検討中である。

仲間議員 町民税は個人と法人に分かれるが、金額などの詳細は。

町長 減税は個人を対象に考えており、減税額は約2600万円程度である。



吉野 民雄 議員

バリアフリー道路

車いすが通行可能なグ  
レーチングへ交換すべき  
では

町長 車いすが走行可能な  
ように整備したい

吉野議員 現在、町道の排  
水路のグレーチングのクロ  
スパーパーピッチは100ミリ  
であるため、車いすの前輪  
が隙間に挟まり走行に支障  
を来している。

50ミリピッチへ交換する  
ことにより問題も解決する  
と思うが、交換する考えは。  
儀武剛町長 道路のグレー  
チングについては、車いす  
の走行がスムーズに行える

よう整備していきたい。

吉野議員 町内で車いすを  
利用して生活されている方  
の人数は把握しているか。

仲田博保健福祉課長 29人  
の方が車いすでの生活を  
送っている。

吉野議員 信愛の丘の利用  
者からは、車いすでも浜辺  
に行きたいという要望もあ  
がっている。

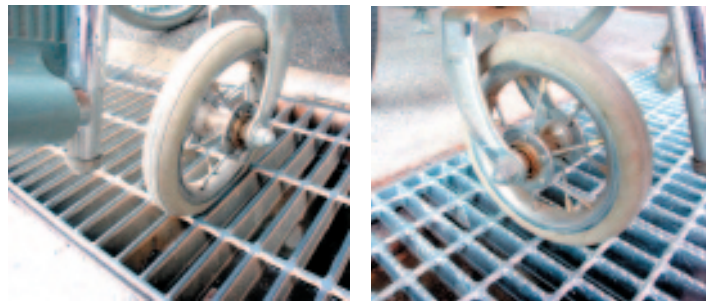
信愛の丘入口へ信号設置  
の要望をしていると思うが、  
進捗は。

比嘉貴一総務課長 信愛の  
丘入口の信号機設置につい  
ては、石川警察署管内で優  
先事項として、沖縄県警本  
部に対し、常に上位の要望  
として上申書を提出してい  
る。

県内では年間300基程  
度の信号機設置要望がある  
が、毎年15基程度の設置に  
とどまっている。

仮に町で予算措置した場  
合に設置は可能かというこ

との打診もおこなったが、  
制御などの問題もあるので、  
予算面だけでは解決できな  
いとのことであり、時間が  
掛かっている状況である。



左が100ミリ、右が50ミリのグレーチング

法面崩壊の復旧

復旧が待たれるが

町長 早急に対応する

吉野議員 屋嘉チヨ原の土  
地改良区内において、排水  
路の法面が崩壊し、今後の  
機械を利用したさとうきび  
出荷に支障を来すことが予  
測され、復旧が待たれるが。  
町長 現場踏査を行った結  
果、雨水等により畑地が浸  
食している状況である。  
今後、法面保護の復旧、  
改修が必要であり、早急に  
対応する。

池原均産業振興課長 現在  
は、雨水によって農地が陥  
没している部分もあり、法  
面が崩れている状況もある。  
そのようなところは当面、  
落ち込んでいるところに土  
を入れ、本格的な改修につ

いてはさとうきびの収穫後  
に行いたいと考えている。

吉野議員 北側の法面は改  
修されているような感じで  
あったが、最近行ったもの  
か。

産業振興課長 畑地に入っ  
て行き、一筆ごとに状況調  
査を行うことは厳しい状況  
である。現場を確認し、そ  
の都度改修を行っている。  
今回、指摘のある部分に  
ついては見逃している部分  
もあったかも知れないが、  
早急に対応したいと考えて  
いる。



## 垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ沖縄配備に反対する意見書

2010年9月9日、米国国防総省のモレル報道官は、垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイを日本の米軍基地で運用する旨を日本政府に伝達していると語り、また、参議院外交防衛委員会にて、岡田克也外務大臣（当時）は、MV-22オスプレイの沖縄配備に基づく飛行経路を沖縄県民に説明すべきだと述べ、MV-22オスプレイの在沖縄海兵隊基地への配備が現実味を帯びてきた。

MV-22オスプレイは、研究開発段階において、数々の墜落死亡事故等のトラブルを引き起こし、欠陥機だとされている機種であり、同機の沖縄への配備は、金武町民に沖縄国際大学で起きた米軍ヘリ墜落事故の恐怖心を抱かせるのに十分過ぎるものがある。

数多くのヘリパッドが存在するキャンプ・ハンセンには、昼夜を問わず海兵隊ヘリの離発着訓練が行われ、町民は、ヘリ訓練による騒音被害にほぼ日常的に悩まされている。MV-22オスプレイが沖縄へ配備されれば、金武町民間地

上空を飛行するのは明確であり、それによって生ずる騒音被害、墜落事故への恐怖は計り知れないものがある。また、この事態は、日米間で合意された沖縄の基地負担軽減にも明らかに反することである。

よって、金武町議会は、町民の生命と財産を守る立場から、MV-22オスプレイの沖縄配備に断固反対し、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年10月1日  
沖縄県金武町議会

宛先

意見書：内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣  
沖縄・北方対策担当大臣

要請決議：沖縄県知事、沖縄県議会議長

## 9月定例会議決結果一覧表

件名	議決結果
平成22年度金武町一般会計補正予算（第2号）	原案可決（賛成多数）
平成22年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
物品の取得について	原案可決（全会一致）
金武町道路線の変更について	原案可決（全会一致）
工事請負契約締結について（町道中川5号線整備工事）	原案可決（全会一致）
工事請負契約締結について（金武町立伊芸地区運動場施設整備工事（土木））	原案可決（全会一致）
工事請負契約締結について（並里・金武地区農業集落排水事業管路工事（1工区））	原案可決（全会一致）
工事請負契約締結について（並里・金武地区農業集落排水事業管路工事（2工区））	原案可決（全会一致）
工事請負契約締結について（屋嘉地区農業集落排水処理施設建設工事（機械・電気））	原案可決（全会一致）
工事請負契約締結について（億首川プロムナード施設整備事業（橋梁工事））	原案可決（賛成多数）
金武町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決（全会一致）
平成21年度金武町一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
平成21年度金武町水道事業会計決算認定について	認定（全会一致）
平成21年度金武町屋嘉地区簡易水道事業会計決算認定について	認定（全会一致）
垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ沖縄配備に反対する意見書	可決（全会一致）
垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ沖縄配備に反対する要請決議	可決（全会一致）
9月議会における5・28日米共同声明白紙撤回要求決議のお願い	みなし採択
認可外保育園の処遇改善と認可促進を求める陳情書	教育民生委員会へ付託
認可保育園移行の陳情	教育民生委員会へ付託

# 傍聴案内

**12月定例会は、12月14日(火) 開会予定です。**

日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。詳細につきましては、議会事務局へお問い合わせください。

(金武町議会事務局：有線電話 8-2292 NTT 098-968-2292)